

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 イワブチ株式会社

コード番号 5983 URL <http://www.iwabuchi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内田 秀吾

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経理部長

(氏名) 池谷 謙一

TEL 047-368-2222(代)

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,333	18.1	57	—	84	—	72	—
25年3月期第1四半期	1,976	△6.4	△148	—	△173	—	△97	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 144百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △143百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	6.58	—
25年3月期第1四半期	△8.85	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	17,350	13,875	79.8
25年3月期	17,318	13,703	79.1

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 13,854百万円 25年3月期 13,703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	10.00	15.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	5.00	—	10.00	15.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,391	△0.6	23	—	74	—	65	—	5.92
通期	9,611	△5.4	392	△10.2	473	△11.9	300	△17.3	27.30

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 北栄鉄工株式会社、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	11,000,000 株	25年3月期	11,000,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	11,508 株	25年3月期	11,508 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	10,988,492 株	25年3月期1Q	10,988,524 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の積極的な経済政策及び金融政策を背景に円安や株高が進行し、緩やかに回復傾向となりました。しかしながら、欧州債務危機の長期化や新興国経済に対する懸念もあり、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社グループの大口需要家であります電力会社では、原子力発電停止に伴う燃料費増加などにより電気料金値上げに踏み切らざるを得ない環境下にあり、コスト削減のため配電線路・通信線路分野において工事量及び価格の低減を図るなど厳しい状況が続いております。

また、情報通信関連において、NTTではスマートフォンやタブレット端末の急速な普及を受けて、光回線工事が減少傾向にあり、依然厳しい状況が続いております。

このような事業環境のもと、当社グループの生産部門では、省人化設備の導入や工程集約によるコスト削減ならびに品質の向上を図りました。また、海陽イワブチにおいても設備効率化の推進を図り価格競争力のある製品の生産に取り組みました。

また、営業部門では、電気通信事業者による光伝送路工事や移動体アンテナ設置工事、老朽化したコンクリート柱の建替工事関連製品及び省資源に貢献する高耐食めっき製品「MAG+1（マグプラスワン）」の拡販など精力的な営業を展開しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,333百万円と前年同期に比べ356百万円、18.1%の増収となりました。また、経常利益は84百万円(前年同期は経常損失173百万円)となり、四半期純利益は72百万円(前年同期は四半期純損失97百万円)となりました。

セグメントに代わる需要分野別の業績は次のとおりであります。

① 交通信号・標識・学校体育施設関連

学校体育施設関連は、防球ネット、照明工事共に小規模な補改修工事が主体ながら計画通り推移しました。また、交通信号・標識関連は、補正予算によるコンクリート柱の建替や信号機のLED化工事が好調に推移しました。その結果、売上高は158百万円と前年同期に比べ13百万円、9.6%の増収となりました。

② ブロードバンド・防災無線関連

防災無線関連は、計画されていた物件工事が繰り延べとなり低調に推移しました。しかしながら、ブロードバンド関連は、全国的に工事が集中し好調に推移しました。その結果、売上高は305百万円と前年同期に比べ101百万円、49.6%の増収となりました。

③ 情報通信・電話関連

情報通信関連は、電気通信事業者が進めている光伝送路工事や移動体アンテナ設置工事が全国的に好調に推移しました。また、電話関連においてNTTでは、関東・北海道エリアを中心とする老朽化したコンクリート柱の建替工事などが好調に推移しました。その結果、売上高は693百万円と前年同期に比べ181百万円、35.5%の増収となりました。

④ 配電線路関連

配電線路関連は、電力会社における原子力発電停止に伴う火力発電用の燃料費や原子力安全対策コストなどの増加により配電工事が抑制傾向にあるなか、積極的な営業活動を展開しました。その結果、売上高は771百万円とほぼ前年同期並みとなりました。

⑤ その他

民間設備投資は、政府の積極的な経済政策の影響もあり全国的に民間工事・公共工事共に好調に推移しました。その結果、売上高は404百万円と前年同期に比べ61百万円、17.8%の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ32百万円増加し、17,350百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ143百万円減少し、9,317百万円となりました。

これは、主に現金及び預金が329百万円、商品及び製品が104百万円増加したことと、受取手形及び売掛金が603百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ176百万円増加し、8,033百万円となりました。

これは、主に有形固定資産が126百万円増加したことによるものです。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ138百万円減少し、3,475百万円となりました。

これは、主に支払手形及び買掛金が105百万円増加したことと、賞与引当金が112百万円及び役員退職慰労引当金が101百万円減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ171百万円増加し、13,875百万円となりました。

これは、主に利益剰余金が78百万円、その他有価証券評価差額金が38百万円及び為替換算調整勘定が33百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月20日に公表しました「平成25年3月期決算短信」における業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成25年5月22日付で北栄鉄工株式会社の株式を取得し、子会社化したため、当第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,601,780	3,931,594
受取手形及び売掛金	3,779,963	3,176,618
商品及び製品	1,649,625	1,753,983
仕掛品	153,947	200,435
原材料及び貯蔵品	198,204	253,798
その他	307,775	246,966
貸倒引当金	△230,413	△246,376
流動資産合計	9,460,882	9,317,020
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,498,393	2,553,988
土地	3,181,904	3,229,505
その他（純額）	542,373	565,328
有形固定資産合計	6,222,672	6,348,822
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,144,361	1,247,216
その他	550,920	421,486
貸倒引当金	△173,142	△97,306
投資その他の資産合計	1,522,140	1,571,396
固定資産合計	7,857,216	8,033,671
資産合計	17,318,099	17,350,692

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,369,148	1,475,013
短期借入金	358,000	323,369
未払法人税等	89,482	44,312
賞与引当金	230,610	118,024
その他	357,251	390,585
流動負債合計	2,404,493	2,351,304
固定負債		
長期借入金	407,000	408,639
退職給付引当金	421,485	441,403
役員退職慰労引当金	236,639	134,675
その他	144,528	139,651
固定負債合計	1,209,652	1,124,368
負債合計	3,614,145	3,475,673
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,496,950	1,496,950
資本剰余金	1,210,656	1,210,656
利益剰余金	10,782,428	10,861,147
自己株式	△2,886	△2,886
株主資本合計	13,487,148	13,565,867
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183,587	222,148
為替換算調整勘定	33,217	66,368
その他の包括利益累計額合計	216,804	288,517
少数株主持分	—	20,633
純資産合計	13,703,953	13,875,019
負債純資産合計	17,318,099	17,350,692

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,976,551	2,333,540
売上原価	1,457,695	1,671,984
売上総利益	518,855	661,556
販売費及び一般管理費	667,096	604,195
営業利益又は営業損失(△)	△148,240	57,360
営業外収益		
受取利息	1,141	632
受取配当金	12,586	11,267
受取賃貸料	6,772	9,381
持分法による投資利益	—	7,794
その他	4,036	4,265
営業外収益合計	24,537	33,342
営業外費用		
支払利息	3,372	2,619
貸倒引当金繰入額	40,523	—
持分法による投資損失	4,272	—
為替差損	1,940	3,443
その他	0	2
営業外費用合計	50,109	6,065
経常利益又は経常損失(△)	△173,812	84,637
特別利益		
固定資産売却益	—	65
負ののれん発生益	—	19,032
特別利益合計	—	19,098
特別損失		
固定資産除売却損	9,384	1,009
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	1,500	—
特別損失合計	10,884	1,009
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△184,696	102,726
法人税等	△87,457	29,892
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△97,238	72,833
少数株主利益	—	552
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△97,238	72,281

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△97,238	72,833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,570	38,561
為替換算調整勘定	△16,615	33,151
その他の包括利益合計	△46,185	71,713
四半期包括利益	△143,424	144,546
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△143,424	143,994
少数株主に係る四半期包括利益	—	552

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは架線及び機器用の支持部品である電気架線金物及びその付随製商品の製造、仕入、販売を営んでおり、その事業が単一セグメントであるため、記載を省略しております。